

# CDIからのご案内 中高等部図書館日本セクション 2017年12月

あちこちのツリーが目を楽しませてくれる季節になりました。CDIでは様々な新刊書籍を揃えております。お気に入りの本がきっと見つかります。是非お立ち寄りください。

|  |   |  |   |
|--|---|--|---|
|   |    |    |                                        |
| <p><b>嫌われる勇氣</b><br/>岸見一郎、古賀史健</p> <p>日本国内では無名に近い存在のアルフレッド・アドラー。「トラウマ」の存在を否定したうえで「人間の悩みは、すべて対人関係の悩みである」と断言し、対人関係を改善していくための具体的な方策を提示していく。</p> | <p><b>野火、ハムレット日記</b><br/>大岡昇平</p> <p>兵士でありながら病ゆえに兵士を拒否された人間がフィリピンの原野に投げ出され、全くの孤独と不安の中で自然と自己を凝視しつつ到達した地点は…。戦争を描きながら戦争小説を超えた文学。</p> | <p><b>百代の過客</b><br/>ドナルド・キーン</p> <p>日本人にとって日記とはなにか。日本文学の系譜が日記文学にあることを看破し、その独自性と豊かさを探究した、日本文化論・日本文学史研究に屹立する不朽の名著。読売文学賞・日本文学大賞受賞作。</p> | <p><b>岬にての物語</b><br/>三島由紀夫</p> <p>夢想好きの早熟な少年がひとり分け入った岬の廃屋で出会った若い男と女。陽光が降り注ぎ、草花の生い茂る夏の岬を舞台に、恋人たちが自ら選んだ恩寵としての死を描く初期の名作。</p> |
|   |    |    |                                      |
| <p><b>これから「正義」の話</b><br/>をしよう<br/>マイケル・サンデル</p> <p>「1人を殺せば5人が助かる。あなたはその1人を殺すべきか？」正解のない究極の難問に挑み続ける、ハーバード大学の超人気哲学講義「JUSTICE」待望の書籍化。</p>        | <p><b>戦後史をよみなおす</b><br/>福井紳一</p> <p>東大・早慶大を目指す受験生十万人に圧倒的な支持を受けた伝説の白熱教室、ついに活字化。駿台予備学校で、カリスマ的人気を誇る講師の「日本戦後史」講義。</p>                 | <p><b>草の根ファシズム</b><br/>吉見義明</p> <p>310万の日本人、その何倍ものアジアの民衆に犠牲を強いた「戦争」。敗戦後42年目の夏、多くの日本人が、自らの体験を通して語る。あの戦争は、私達にとって、一体何だったのか、と。</p>       | <p><b>美しい星</b><br/>三島由紀夫</p> <p>地球とは別の天体から飛来した宇宙人であるという意識に目覚めた一家を中心に、核兵器を持った人類の滅亡をめぐる現代的な不安を、SF的技法を駆使して描いた作品。</p>         |



殉教  
三島由紀夫

死の直前に編まれた、著者自選の第三短編集。三島文学の中心的なテーマをなした世界への憧憬と日常世界との関係を、反時代的な主人公によって象徴的に描いた作品。



小説家の休暇  
三島由紀夫

芸術家にかかわる問題を、日記の自由な形式をかりて縦横に論考、パロックスと示唆に満ちた表題作。著者の哲学の原点を示すものと言えることができる。



鍵のかかる部屋  
三島由紀夫

財務省に勤務するエリート官吏と少女の密室の中での遊戯。敗戦後の混乱期における一青年の内面と行動を描く表題作など短編12編。



禁色  
三島由紀夫

女を愛することの出来ない同性愛者の美青年を操ることによって、かつて自分を拒んだ女たちに復讐を試みる老作家の悲惨な最期。



川端康成・三島由紀夫  
往復書簡  
三島由紀夫、川端康成

日本を代表する2人の作家のほぼ完全な往復書集。三島の作家人生と同時に始まった「師弟関係」は、「内的コレスポダンス」によって結びつきを深める。



葉隠入門  
三島由紀夫

「葉隠」の潤達な武士道精神を今日に甦らせ、〈現代の武士〉たちの常住坐臥の心構えを説いたこの『葉隠入門』は、人生論であり、道徳書であり、三島自身の文学的思想的自伝でもある。



鹿鳴館  
三島由紀夫

明治19年の天長節に鹿鳴館で催された大夜会を舞台として、恋と政治の渦の中に乱舞する四人の男女の悲劇の運命を描く。



宇宙からの帰還  
立花隆

宇宙とは、地球とは、神とは、人間とは何か、を宇宙飛行士の衝撃に満ちた内的体験の徹底取材と、卓越したインタビューによって鮮やかに描く。

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
|    |    |    |   |
| <p style="text-align: center;"><b>漢字と日本人</b><br/>高島俊男</p> <p>本来漢字は日本語とは無縁。だから日本語を漢字で表すこと自体に無理があった。その結果生まれた、世界に希な日本語の不思議とは？</p> | <p style="text-align: center;"><b>若いぼくらにできること</b><br/>今井雅之</p> <p>こんなに面白い青春を送った奴がいただろうか？「役者になりたい」—自衛隊、マラソン、サバイバル、売れない修行時代。読むと元気がわいてくる、俳優・今井雅之の破天荒な青春記。</p> | <p style="text-align: center;"><b>あのころはフリードリヒがいた</b><br/>ハンス・ペーター・リヒター</p> <p>ヒトラー政権下のドイツ。その時代に生き、命をおとした一人のユダヤ人少年フリードリヒの悲劇の日々を、ドイツ少年の目から描く。</p> | <p style="text-align: center;"><b>近代能楽集</b><br/>三島由紀夫</p> <p>著者が、能楽の自由な空間と時間の処理方法に着目し、古典文学の持つ永遠のテーマを「近代能」という形で作品化。ギリシャ古典劇にも通じるその普遍性の為に海外でも上演され好評を博した。</p> |